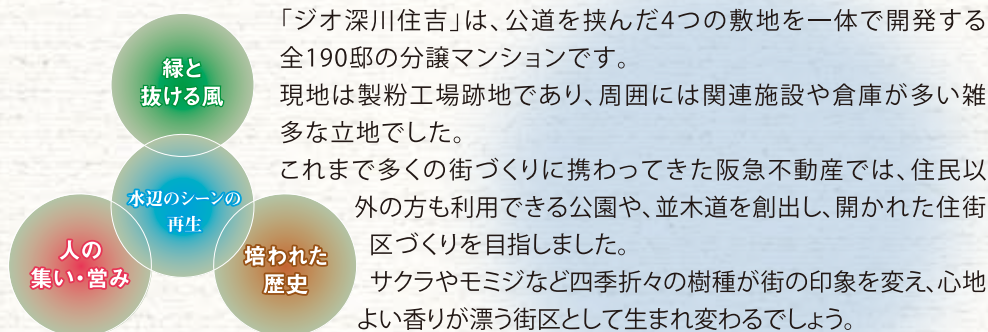


企画名:
潤いの水辺に、四季彩香るまちの再生

企画団体名:阪急不動産株式会社

企画の紹介



コンセプト&ねらい

長年にわたり「街づくり」に携わってきた阪急不動産だからこそできる開発をめざし、街づくりを考えました。

住街区のコンセプトは「潤いの水辺に、四季彩香るまちの再生」です。

江戸時代、「塩の道」と呼ばれ重要な水路として活躍していた小名木川沿いに見られた、人々の活気ある姿や生き生きとした交流の風景。この地の歴史に寄り添った緑豊かな住街区の創造により、地域全体の価値を高められるのではないかと考えました。

現地北側に小名木川をかかえる景観と、公道を挟んだ開発である本件の特徴を生かし、公園や緑道を整備することで、リバーサイド立地を活かした「水と緑と香りに包まれる豊かな環境」の創出を目指しました。

アピールポイント

①「工場からみどり香るまちへ」

現地にはかつて製粉工場や関連施設などが点在し、雑多な印象を与える場所でした。

そこで、単なるマンション建設ではなく小名木川をかかえる景観と、公道を挟んだ開発である本件の特徴を生かし「水と緑と香りに包まれた美しい街づくり」を目指して企画しました。

②「川からの風が街に香りを運ぶ」

現地北側の小名木川からの風が、小名木川沿いの緑（別紙ゾーニング②）と公道沿い並木（別紙ゾーニング①）の花と緑の香りを街に運びます。

③「街の憩いの場へ」

公道である並木道（別紙ゾーニング①）はマンションにお住まいの方だけでなく、通りを歩く方に季節を感じて頂けるよう、落葉樹と常緑樹を並べています。サクラや紅葉など四季を楽しんで頂ける風景を目指して計画されています。

④「防災」

敷地南の「陽だまり公園」（自主管理公園）は地域にも開かれた公園です。

利用される方々に季節ごとの樹種を楽しんでいただけるだけでなく、災害時には避難所となる芝生広場を設置し、外周には耐火樹を植樹しました。



外観完成予想図（CG）

香り樹木・草花の見頃

①水辺とつながる街路の緑（公道＝ロードサイドグリーン）

職種名	本数	開花時期
シャラノキ	6本	初夏
シラカシ	1本	春
ホウキハナモモ	10本	春
ケヤキ	10本	春
モミジ	4本	一
アラカシ	1本	春
ベニバスモモ	5本	春
ドウダンツツジ	2本	春
トキワマンサク（白）	30本	春
トキワマンサク（赤）	30本	春
ヒイラギモクセイ	143本	秋
ハマヒサカキ	362株	晩秋
クチナシ	360株	夏
マホニアコンフーサ	275株	秋
サツキツツジ	228株	春

④街とつながる中庭の緑（澄みよしの庭＝プライベートガーデン）

職種名	本数	開花時期
シラカシ	5本	春
イロハモミジ	5本	春
ドウダンツツジ	4本	春
ヤマボウシ	2本	初夏
西洋シャクナゲ	3本	春
カクレミノ	3本	夏
サツキツツジ	20株	春
オオムラサキツツジ	11株	春
ヒイラギナンテン	183本	春
ナワシログミ	50株	秋
ヒバリカムヒデコート	102株	春

②水辺を彩る緑（小名木川＝ランドスケープグリーン）

職種名	本数	開花時期
ヤマモモ	68本	春
ヤマボウシ	8本	初夏
ドイツトウヒ	3本	春
ハマヒサカキ	63本	晩秋
ヘデラカナリエンス	15本（POT）	秋
ナツジタ	15本（POT）	初夏
キチジョウソウ	847本（POT）	秋

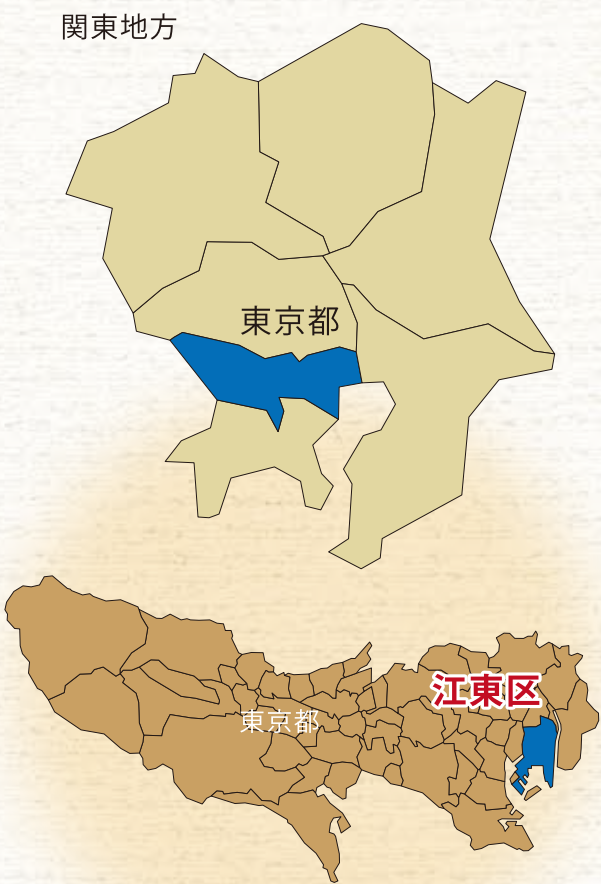
③街路を彩る四季のある緑（陽だまり公園＝コミュニティガーデン）

職種名	本数	開花時期
ソメイヨシノ	8本	春
ケヤキ	1本	春
クロガネモチ	10本	春
カツラ	1本	一
アオキ	190株	春
オオムラサキツツジ	200株	春
サツキツツジ	359株	春
シルバープリペット	48株	春

⑤隣地を思ふ緑（隣地境界＝プライバシースクリーン）

職種名	本数	開花時期
キンモクセイ	1本	秋
クロガネモチ	1本	春
オオムラサキツツジ	72株	春
アオキ	65株	春
ヒイラギモクセイ	45株	秋
サツキツツジ	40株	春

企画の場所



東京都江東区扇橋 2-23-2他（地番）

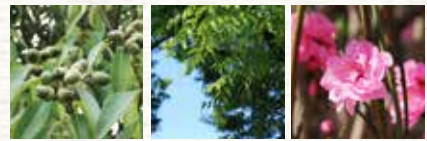
沿道や場所ごとにテーマを設けた植栽ゾーニング

4つの敷地の各所に、四季折々の植栽を計画しました。また植栽以外にも、沿道には樹々を浮かび上がらせる照明を数多く配置し、何度も通りたくなるような穏やかで美しい雰囲気を出しました。

暗かった街区を植栽の力で爽やかに再生させ、街の方々に花と緑の香りを届けます。

①水辺とつながる街路の緑 (公道＝ロードサイドグリーン)

エントランスには雑木風のイロハモミジとオカメザサで和の趣を表現しました。
小名木川へと続く並木には、落葉樹と常緑樹を並べ、紅葉・花を楽しむ季節の変化がある風景となっています。



シラカシ ケヤキ ホウキハナモモ



クチナシ ベニバサモモ ハマヒサカキ

②水辺を彩る緑 (小名木川＝ランドスケープグリーン)

歴史的資源である小名木川の修景の一環として、塩の道から見えるように常緑高木や壁面緑化を計画し、同时对岸や橋からの景観にも配慮しています。
ヤマボウシやヤマモモなど、建物と川辺を彩る樹木を列植し、川沿いの景観に緑の潤いをもたらします。



ヤマボウシ ヤマモモ キチジョウソウ



ドイツトウヒ マホニアコンプーサ ヒイラギモクセイ

⑤隣地を思う緑 (隣地境界＝プライバシースクリーン)

隣地境界も道路と同じように地域とのつながりを意識し、計画地のプライバシーを確保するとともに、隣接地の借景にもなる生垣を積極的に配置しました。



マホニアコンプーサ ヒイラギモクセイ タマリユウ

②の花の見どころ

夏 晩秋

クチナシ ハマヒサカキ

④の花の見どころ

春 春

ヒイラギナンテン ヒバカムヒデコート

①の花の見どころ

春 秋

ヤマモモ ハマヒサカキ

③の花の見どころ

春 春

ソメイヨシノ オオムラサキツツジ
サツキツツジ

③街路を彩る四季のある緑 (陽だまり公園＝コミュニティガーデン)

春はサクラの桃色、夏はケヤキの緑、秋はカツラの黄、そして冬は芝の黄色といった四季を彩る樹種により、街の方々に楽しんでもらえる公園を目指しました。

また、災害時には避難場所となる陽だまり公園の外周にクロガネモチなどの耐火樹を植樹して広場を守ります。

敷地の奥行き感の変化を楽しんでもらうため、歩道状空地沿いだけでなく、敷地中央にシンボルツリーを計画しました。



カツラ クロガネモチ ケヤキ



ソメイヨシノ サツキツツジ アオキ

④街とつながる中庭の緑 (澄みよしの庭＝プライベートガーデン)

中庭の緑は①の沿道緑化とエントランスホール、吹抜けを介して視覚的につながるように設計しました。

小名木川の水面のゆらめきを低木や地被類を敷き詰めることで表現し、その上に幹や枝が曲がりくねったイロハモミジの枝張りが覆いかぶさるように施しました。

かつて江戸の名所として紹介されたような風情豊かな空間の再生を目指しました。



サツキツツジ イロハモミジ 西洋シャクナゲ



エントランス

中庭

完成前



現地空撮(完成前)



Before

After

完成後(イメージCG)



東南の緑道(敷地配置図カメラA)



南側の自主管理公園(敷地配置図カメラB)